

交通栄誉章緑十字銀章を受賞

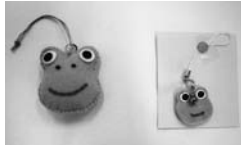
永年にわたり、交通安全の推進のために多大な功績のあった相馬千鶴子さんに警察庁長官と全日本交通安全協会会長の連名による「交通栄誉章緑十字銀章」が授与されました。



相馬千鶴子さん (小須戸)

表彰式は1月17日(木)、東京都文京区の「文京シビックホール」において、秋篠宮様ご臨席と安倍首相の出席のもと、本人には表彰状及び記章、配偶者には感謝状がそれぞれ贈られました。

受賞の主な内容は①毎年、秋葉区内の小学校入学児童約650人と、小須戸地域の幼稚園・保育園児約400人に対して、手づくりの「無事カエルお守り」の贈呈②平成19年から県警の「地域交通安全活動推進員」として、地域の交通安全活動に尽力③現在、秋葉区交通安全協会女性部会長として、



無事カエルお守り

各種交通安全活動に尽力などの地道な活動に贈られたものです。栄えある受賞誠にありがとうございました。

《山えさん》～山に遊びに行きませんか～ 参加者募集!

矢代田の子どもたちは旧暦の桃の節句(4月3日)に、ひな祭りのひし餅にならい『ひし形餅』をもって山へ遊びに行き、一日中楽しんでさうです。このならわしを復活させ、みんなで山へ遊びに行きませんか!

日時
4月3日(水) 8時45分大沢森林公園集合
9時出発 12時解散(予定)

参加費
300円(餅代・保険料)※当日徴収
持ち物
タオル、飲み物、雨具



注意事項
・山に登りますので、動きやすい服装と靴でお越しください。
・小学生以下の方は保護者同伴をお願いします。
・トイレは大沢公園にしかありません。
ご注意ください。

行程
9時大沢公園⇒10時大平⇒11時高立山(休憩)⇒11時20分ろう火峰⇒12時大沢公園
※雨天の場合は、ふれあい会館にてレクリエーション等を行う予定です。

問合せ・申込
小須戸地区ふれあい会館へ電話でお申し込みください(☎0250-38-3151)

※休館日:月曜・祝日 開館時間:9時~21時30分
※申込締切3月29日(金)

主催
小須戸地区スポーツ振興会



協力
山の手コミュニティ協議会・小須戸コミュニティ協議会

小須戸中学校吹奏学部 スプリングコンサート spring concert

地域の皆様は、一足先に「春」と、「元気」をお届けします。毎年楽しみにして下さっている方も増えてきて、とても喜んでます。

「楽器の音で伝えあうこと、聴いている人に気持ちを届けること」を目指して、21名で頑張っています。

多くの方々にご来場いただければ幸いです♪

☆日 時:3月23日(土)
午後1時30分 開場
午後2時 開演

☆会 場:小須戸中学校 体育館(中学校体育館の玄関からお入りください)
※入場無料


☆演奏曲:もののけ姫セレクション、コヴィントン広場、2018年J-POPベストヒッツ
スペシャルメドレー ほか

平成31年度の新潟市公民館事業の基本方針及び基本施策が示されましたので、概要をお知らせします。

【基本方針】
 (1) 学びを通じた地域の結びつきとコミュニティ活性化
 市民と地域が、学びを通じてつながりを深め、地域課題や社会的課題に取り組む人材を育成し、地域に絆をつくり、コミュニティの形成と活性化に努めます。
 (2) 学・社・民の融合による地域の教育力の向上
 学校、家庭、地域として公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。
 (3) 市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実
 子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。

【基本施策】
 基本方針に従い、次の基本施策をもとに各事業を取り組みます。
 (1) 地域コミュニティ活動の活性化を支援
 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりの推進
 家庭における教育力向上の支援
 青少年の生きる力を育む機会の充実
 高齢者の学習支援や社会参加の促進
 現代的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

それぞれの項目に対する小須戸地区公民館の具体的な事業名と事業目的などは、4月号でお知らせする予定です。



小須戸地区公民館

平成31年度 新潟市公民館事業の基本方針

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp
編集 公民館報編集委員会

すまいると一言

「最近思う事」

遅い朝食を終え静かな時間が流れる毎日の楽しみの一つに新聞がある。幼い頃、家が貧しく新聞など読めるはずがなかった。しかし、よく行った友達の家には玄関の廊下に無造作に新聞が置いてあり、なんとなく読

ませてもらったものだった。まして夕刊まで読んで当時の出来事や大事件などをそこで知ったものだった。今では本当にありがたかったと思ってる。
やがて我家も新聞をとるようになり、毎日読んでは出掛けたものだ。全国紙もとったものだった。今思うと気力も体力も充実していたのだろう。

今では考えられない。やがて毎日が日曜日になり、改めて振りかえってみると常に新聞が身の回りにあり、それを暇さえあれば開いたり閉じたりしている自分に気がついたのである。これからはずっと続くと思う毎日です。「たかが新聞されど新聞である」
(小須戸 T・T)

世代を越えて昔遊びを楽しむ

〜矢代田小学校〜



1月24日ふれあい会館で、矢代田小1年生が生活科の授業で地域のボランティアの皆さんと昔遊びを楽しみました。全員で輪投げを楽しんだ後、3班(①けん玉、こま、おはじき②おてたま、あやとり③たけうま)に分かれ、時間を区切って全ての遊びを体験しました。



子どもたちは、幾日も前からこの日を楽しみにしていたそうです。ボランティアの皆さんから優しく丁寧に遊び方を教えてもらい、興味津々、無我夢中で遊んでいました。ボランティアで参加した加藤久子さんは「子どもたちから元

小須戸まちづくりセンターから
平成31年度の臨時休館日のお知らせ

センターでは、平成31年度の臨時休館日を次のように予定しておりますので、お知らせ致します(平成31年4月1日より実施)

◇5月3日(金)、4日(土)、5日(日)の祝日
 ◇お盆の8月13日(火)、14日(水)、15日(木)
 ◇祝日で、1日貸館利用のない日(1日休館)
 ※1か月前までに利用予約がない場合に実施します
 ◇日曜日・祝日で、夜間帯の貸館利用のない日(18時閉館)
 ※1か月前までに利用予約がない場合に実施します
 ◆通常の休館日は「第2・4木曜日」「12/29~1/3」です

カーリンコン体験会のご案内

カーリンコンの楽しさが
あなたを健康にします!

日時:3月25日(月)午前10時~12時
会場:小須戸まちづくりセンター 3Fホール
定員:30名(先着順)※参加費無料
指導者:新潟県カーリンコン協会会長 細井修平
主催:地域の茶の間「長寿楽」・生き生きクラブ
問合せ・申込先:白井 ☎38-5318



学生時代の気分を味わう
 今年度で33回目となる新津南高等学校開放講座が無事修了しました。8月から11月の土曜日の午前、5回に分けて学生時代の気分を味わいながら高校の教室で、14名の受講生が色々なテーマを現職の高校教師から学びました。
 8月25日の第1回目は美術の先生から草木染め(コヒー染め)の基礎を学び、続く9月15日の第2回目で自分の好きな絞り方を選び世界に一つだけの「マイ手拭い」が誕生しました。受講生の作品は11月に開催された市民展に展示され

学生時代の気分を味わう 新津南高等学校開放講座修了

個性あふれる手拭いに多くの来場者が感心していました。10月20日の第3回目は「数の神秘 統計とは何か」と題して、数学の先生から数の規則性やコンパスと定規を使って正五角形を作り出しました。

11月17日の第4回目は「古典『徒然草』を楽しく読む」と題して、古典の先生から兼好法師の、ゆるりと現代を生き抜く哲学をグループ討議しながら人生を楽しむためのコツを学び、最後にエッセイ創作に挑戦しました。

11月24日の第5回目は書道の先生から、昨年に引き続き詩絵を体験させていただきました。自分の好きな文字や模様を描いた詩絵は世界でただ一つの自分の宝物になりました。このように、歴史のある新津南高等学校開放講座ですが、毎年テーマを考え、その時代を反映した講座を開催しています。来年度も開催の案内が飛び入り、一度学生気分を味わって、もう一度新津南

11月24日の第5回目は書道の先生から、昨年に引き続き詩絵を体験させていただきました。自分の好きな文字や模様を描いた詩絵は世界でただ一つの自分の宝物になりました。このように、歴史のある新津南高等学校開放講座ですが、毎年テーマを考え、その時代を反映した講座を開催しています。来年度も開催の案内が飛び入り、一度学生気分を味わって、もう一度新津南

小須戸地区図書室新刊案内

- 【一般書】**
- ・お茶の先生に教わる きちんとときもの手ほどき帖 (北見雅子)
 - ・刺しゅうハンドブック (日本ヴォーグ社)
 - ・鍋の素 (エダジュン)
 - ・ナナメの夕暮れ (若林正恭)
 - ・フーガはユーガ (伊坂幸太郎)
 - ・愛と永遠の青い空 (辻仁成)
 - ・エル・グレコの首飾り(佃一可)
 - ・地球星人 (村田沙耶香)
 - ・日本文学全集 05 (池澤夏樹)
 - ・文芸あきは第十二号 (新津文芸協会)
 - ・はじめての盆栽 (山田香織)
 - ・居酒屋ぼったくり10 (秋川滝美)
 - ・下町ロケット4 (池井戸潤)
 - ・四十歳、未婚出産 (垣谷美雨)
 - ・沈黙のパレード (東野圭吾)
 - ・愛なき世界 (三浦しをん)
- 【児童書】**
- ・世界がわかる国旗の本 (学研/出版)
 - ・どんだんぼしわたれ (こばやしえみこ)
 - ・ノラネコぐんだんおばけのやま (工藤ノリコ)
 - ・ばけバケツ (軽部武宏)
 - ・みえるとかみえないとか (ヨシタケシンスケ)



高校の皆様、受講生の皆様ありがとうございました。

小須戸地区公民館

おいしい 楽しい♪ 小須戸お花塾

会場：小須戸まちづくりセンター
 対象：秋葉区在住の小学生とその親または祖父母 18組(先着)
 参加費：各回1,000円
 講師：(公財)新潟県都市緑化センター 花と緑のアドバイザー 中野 節子 さん

回	日時	時間	内容
1	4月27日(土)	午前9時~12時30分	フラワーアレンジメントと さくら餅づくり
2	5月25日(土)	午前9時~12時30分	お花のフォトフレームと カップケーキづくり
3	6月22日(土)	午前9時~12時30分	夏の花の寄せ植えと 黒蜜白玉寒天(フルーツ付き)

持ち物：花ばさみ(1回目)、エプロン、三角巾(3回目)
 ※3回共、参加できる方を優先させていただきます。

申込み：小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715
 申込み期間：3月15日(金)~4月17日(水)

文芸欄

俳句
 風に立つ落葉蝶になり鳥になり
 手をあげて駆け寄る友の息白し
 冬枯や小鳥飛び交ふ散歩道
 山里に廢屋二軒寒の雨
 さはがしき生徒一喝冬の雷
 ぽかぽかと座した床の間鉢の梅
 帰国せし子に焼きたての塩鮭を
 湯の宿の絵手紙コーナー四温晴れ
 スーパーの金魚「玉サバ」春を待つ
 春愁や紅の糸ひく砂時計

川柳
 図書館に瞳きらきら読み聞かせ
 閉店セール群がる客の目が光る
 ルビ無いとキラキラネーム読めません
 汗光るスーパードラッグ店アアアアア
 レレヒ祭一本杖が輝いた

短歌
 制服の採寸見守り涙出る
 赤子の君も中学生
 覚えたてマジック披露寡黙なる
 夫の拍手に部屋は暖か
 満天の凍てつく夜空眺めれば
 北斗七星際だちて見ゆ
 誘われて幾年ぶりに旧友と会ひ
 めぐる思ひ出老女等包める
 十年も大きく咲きしボタン又
 咲いてくれよと祈りて手入
 冬晴れにキャベツ穫りのおばあちゃん
 畑の真中体操してる

俳句・川柳・短歌募集
 題材は自由(お一人一句または一首。住所、氏名(ペンネーム)可)電話番号を明記し、3月25日(月)までに小須戸地区公民館へ。

中野 節子
 熊倉 ひろむ
 丸山 文紀
 吉澤 文子
 間野 松子
 吉田 玲子
 本多 幸子
 風間 綾子
 馬場 綾子
 佐久間 久子
 能登 としお
 会田 修
 浄 栄
 保科 志枝
 増井 都留
 渡辺 信子
 奉和 崇

『矢代田の命を守り協力するまち』を目指して

2月21日(木)ふれあい会館にて、矢代田小学校6年生による学習発表会が行われました。ふれあい夏まつりのテーマ『大切にしたい、災害、有事の際の絆の支えあい』に着目し、まつりのステージ発表にひきつづき、防災についていろいろ調べてまとめた事を5カ所に分かれて発表しました。限られた時間でしたが、どこの発表場所からもチームの発表が終わる度に盛大な拍手がおこりました。会場の入り口には、手づくりの『ポラリス防災パンフレット』が見学者の人達に配られました。内容も、山の手地区で起こりやすい災害の事や災害時に大切な事など、色々書かれてありました。当日は、小合地区地域の茶の間の皆さんや新潟医療福祉大学の教授・学生さんも迎えての「地域の茶の間」開催日でもあり、参加した皆さんにも観ていただき、発表会の会場は大勢の人で賑わいました。



山の手コミュニケーション協議会

おひなさま片付けボランティア募集!

小須戸コミ協と秋葉区自治協議会の協同事業「きらめきサポートプロジェクトひな・町屋めぐり」はおかげさまで大変好評で、すでに800名以上の方が小須戸地域を訪れています。3月末までの開催ですので、まだご覧になっていない方はぜひ各会場へ足を運んでみてください。
 展示期間終了後4月から町屋ギャラリー薩摩屋などのひな飾りを片付けますが、今回は量が多いので現在のボランティアスタッフだけでは手が足りない状況です。おひなさま片付けのお手伝いできる方を募集しますので、お手伝い可能な方はご協力よろしくをお願いします。

日にち：4月上旬~中旬の土・日
 都合の良い日
 時間：11:00~15:00の
 都合の良い時間
 人数：何人でも
 ご協力いただける方はまちづくりセンター(☎25-7069)まで



小須戸コミュニケーション協議会